



議員の  
三条市の

一般質問

～12月定例会ダイジェスト～



### 図書館等複合施設の運営管理は？

**Q** 用途の異なる3つの機能を有する新施設の運営管理については、直営と指定管理者のハイブリット方式など工夫が必要ではないか。

**A** 直営と指定管理者を混在させる手法や指定管理者を複数分野の主体で構成される共同企業体とするなど、あらゆる手法を排除せず幅広く検討を進めている。令和3年度から現図書館を新たな体制により運営することを予定しており、今年度中には直営または指定管理者などの運営体制の骨格を定め、令和2年度に決定する予定。

### 若者たちをまちなかへ！

**Q** 来春開校の三条看護・医療・歯科衛生専門学校、令和3年度開校

### 三条昭栄開発株の解散手続きにおける嫌疑を申し出た結果通知はあったのか

**Q** 被通知人への行政処分は下されたのか。  
**A** 三条市としてはあずかり知らぬこと。

### 三条市の財政問題について

**Q** 三条市の最大の財政問題は何か。  
**A** 少子高齢化と人口減に伴う税収不足が危惧される。  
**Q** 「身の丈」にあった借金残高か。  
**A** 計画通り進めている。  
**Q** なぜ借金残高の減り目が見られないのか。  
**A** 想定範囲内である。  
**Q** 何をもち「健全財政」と言い切れるのか。  
**A** 国が定めた「健全化判断比率」に一つも抵触していない。

### 東三条駅前駐車場の利用状況と今後の対応策について

**Q** 利用時間と利用料金の設定は適切なのか。地元商店街との連携による取り組みはどうか。また、パーク・

の三条技能創造大学の定員は合わせて640名。学生たちをまちなかに迎え入れる仕掛けを今から議論すべきではないか。

**A** 学生たちが積極的に新図書館を利用できるよう選書の調整や貸出し返却手続きなどの連携を検討していく。弥彦線で一駅の交通の利便性を活かし、まちなかのにぎわい創出に向けた取り組みの中で、学生をターゲットにした事業も取り入れる検討を進め、新施設を研究成果の発表の場として活用するなど学生が行き来する環境を創出していきたい。



640名の学生たちをまちなかへ！  
三条看護・医療・歯科衛生専門学校および三条技能創造大学の完成イメージ図

アンド・ライドの視点による利便性の向上をどう考えるか。

**A** 地元商店街が中心となってさまざまなイベントを行うなど、地域活性化の手応えを感じており、今後も続けていきたい。利用時間と利用料金、パーク・アンド・ライドについては、民間事業者配慮しつつ利用促進の観点から今後検討したい。



利用拡大が期待される東三条駅前駐車場

### 須頃郷第1号公園の現状と今後の利用について

**Q** 三条燕インターチェンジ脇の1万6000平方メートルについて、公園や避難場所として燕市と三条市とで管理しているが、開発が進む地区で宝が眠っていることも事実。利用に何らかの方向性を示すべきでないのか。

### 既存公共施設の維持管理について

**Q** 体育文化会館が竣工し、新しい体育施設が完成した。その一方で既存の体育館や公民館などは古くなって快適に利用できないような事態も起こっている。対策はどうか。

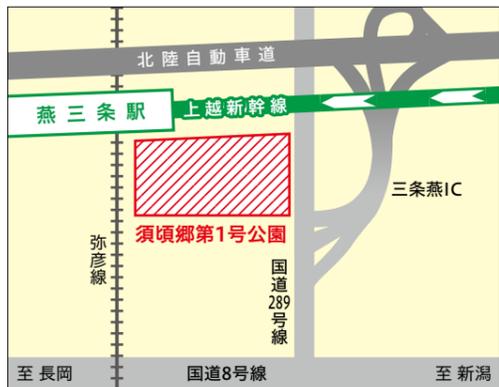
**A** 財政状況を踏まえ、緊急性や費用対効果等を考慮し、優先順位を付け、設備の修繕や入れ替えを行っている。

### 熊・イノシシ等の鳥獣被害の状況と対策について

**Q** 熊の出没が相次いでいる。山間部ではイノシシの被害も出ている。出没件数など被害状況の把握と対策はどうか。

**A** 熊の出没確認件数は、下田地域83件、三条地域7件、栄地域1件だ。人的被害はないが道路上で車との接触が1件。捕獲頭数は17頭。対策は広報車両でのアナウンス、鳥獣被害対策実施隊員によるパトロールやドローンによる個体探査。加えて、防災無線やメール配信等で情報発信等を行った。今年度、多発する熊の出没を災害と捉え、人的被害防止の熊出没対応マニュアルを整備した。  
イノシシ被害と対策は、出没確認件数は10件、農地への侵入3件、人

**A** 昭和54年の土地区画整理事業の中で敷地面積の3%分として緑地整備された。三条、燕両市に帰属され、地下貯水槽を備えた緊急避難所としても位置付けられている。管理協定に基づき、実質的には三条市が管理している。民間活力の活用という方向感を意識し、燕市とも連携して調査研究したい。



須頃郷第1号公園

### コシヒカリの品質低下、農家に支援を

**Q** 今年は夏の猛暑の影響で品質が低下したため、にいがた南蒲農協におけるコシヒカリの1等米比率はわずか3%。3等米比率は61%もあり仮渡金は1等米と比べ2割も安い。規格外米は5%で価格は1等米の3

的被害はない。対策は、檻の設置や周辺住民への周知、出没付近のパトロールを行った。

猿の被害対策は、平成23年から行っている電気柵の設置が効果を上げている。



熊に傷つけられた柿の木(下大浦地内)

### 嵐南小学校・第二中学校プール損害賠償裁判全面敗訴を受けてその後について

**Q** 市民への説明はされたのか。  
**A** 総務文教常任委員協議会とメディア向けの定例記者会見で実施済み。

**Q** 生きた教材として「プール訴訟」事例を道徳教材に活用してはどうか。  
**A** 考えていない。

分の1だ。収入減に苦しむ農家を支援してほしい。  
**A** 県が融資制度を創設し、三条市は利子補給による農家支援を行っている。

### 補聴器購入に補助を

**Q** 高齢化社会において難聴者が増えていく。耳が聞こえづらいと家に閉じこもりがちだ。補聴器購入について補助してほしい。

**A** 補聴器は、難聴のある高齢者にとって良好なコミュニケーションの確保や認知症予防等への効果が期待できる。来年度の予算編成の中で検討したい。



補聴器購入に補助を

### 食品ロス削減の推進

**Q** 食べられるのに捨てられてしまう食品を減らすために、どのような取り組みを考えているのか。